

医療・救急

子育てをしていると、「子どもの熱が急に高くなった!どうしよう」、「子どもがやけどをした!」など、突然の病気や事故が起こる事もあります。

「もしも…」のときに慌てることがないように、日頃から確認しておきましょう。

かかりつけ医を持ちましょう!

「かかりつけ医」とは、皆さんやご家族の病気のことについてよく知っている身近な医師のことです。今、かかっている病気やこれまでにかかった病気、何の薬を飲んでいるかなど、「日頃からの安心」「何かあったときの安心」のため、普段からかかりつけ医に相談しておけば、皆さんにとっても心強いのではないのでしょうか。

日々の健康管理に役立つだけでなく、いざというときに適切な判断によって最適な診療を受けることができます。また、かかりつけ医だけでなく「かかりつけ歯科医」や「かかりつけ薬剤師」も日頃から意識しておきましょう。

子どもの救急ハンドブック

あなたのお子さんが、夜間や病院が休みの時に、病気やケガをしたらどうしますか? 「病院は?」「救急車をよぶべき?」「どうしよう?」「大丈夫かな?」などの経験は誰にでもあるはずです。

このハンドブックはそんな不安に対して、少しでもお役に立てるような内容が掲載されています。いざという時に、素早く対応できるように日頃から目を通しておきましょう!!

お問い合わせ先 消防救急課 ☎0568-85-6343



急性中毒になったとき

財日本中毒情報センターでは、365日中毒110番として化学物質、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定し情報提供しています。

- 大阪: ☎072-727-2499【24時間対応】
- つくば: ☎029-852-9999【午前9時～午後9時】
- たばこ専用回線: ☎072-726-9922【24時間対応】



休日や平日夜間に急病になったときは…

1. かかりつけ医にお問い合わせください。

かかりつけ医であれば、普段の診察や情報などから総合的に判断し、適切な治療が受けられます。

2. かかりつけ医が不在のときには、休日・平日夜間急病診療所で診療が受けられます。

診療時間等を確認し、事前に連絡してから受診してください。

春日井市休日・平日夜間急病診療所(総合保健医療センター) ☎0568-84-3060

診療科目	診療日	診療時間
内科 ・ 小児科	平日夜間 ※祝休日及び年末年始は除く	午後9時～午後11時30分
	土曜日 ※祝休日及び年末年始は除く	午後6時～午後9時
	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30～1/3)	午前9時～正午 午後1時～午後5時 午後6時～午後9時

診療科目	診療日	診療時間
外科	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30～1/3)	午前9時～正午 午後1時～午後5時 午後6時～午後9時
歯科	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30～1/3)	午前9時～正午

▲受付は診療開始時間の30分前から診療終了時間の30分前までです。
※この急病診療所は、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力で実施しています。

あいち救急医療ガイド
(愛知県救急医療情報システム)

ホームページアドレス▶▶ <https://www.qq.pref.aichi.jp/>



※インターネットで、その時に受診可能な医療機関を検索することができます。なお、受診前に、必ず直接医療機関にお問い合わせください。

安全安心情報ネットワーク

登録をされた皆さんに、安全安心情報(防犯等)や気象情報(気象、地震等)、消防情報(火災等)を携帯電話やパソコンにメールで配信します。

登録はこちらから

<https://service.sugumail.com/kasugai/member/>



起こりやすい事故

好奇心旺盛な子どもの身のまわりには、室内室外を問わずたくさんの危険が潜んでいます。普段から注意しておく、事前に対策をとっておくことによって防げる事故があります。子どもの安全を守るために、日ごろから気をつけておきましょう。



●家の中の危険対策チェック

キッチン・ダイニング

- 鍋や炊飯器などやけどの恐れがあるものや包丁などの刃物は、子どもの手の届かないところに置く
- 子どもが小さいうちは、テーブルクロスの使用を控える(子どもがひっかけて物が落ちてしまう危険があります)
- 食べ物や飲み物をテーブルの端に置かない

トイレ・洗面所

- 化粧品や洗剤、消臭剤など、子どもが誤飲しそうなものは手の届かないところに置く
- 洗濯機やトイレのふたは常に閉めておく(覗き込んだ拍子に転落する危険があります)

浴室

- 入浴時以外は浴槽のお湯を抜いておく
- 浴室の入口は常に閉めておく
- 入浴時は出来る限り子どもから目を離さない

ベランダ

- 室外機やイスなど、柵を越える踏み台となるようなものを置かない
- 子どもが1人でベランダに出てしまわないよう、窓には常に鍵をかけておく

リビング

- テーブルや床に誤飲の危険があるものを置かない(タバコ、ボタン電池、硬貨、その他小さな部品など)
- テーブルや棚の角には、ぶつかって怪我をしないようにクッションやカバーをつける
- コンセントは感電防止のためにカバーなどをつける(ヘアピンや鍵、針金を差し込んで感電する恐れがあります)
- やけどの恐れがあるアイロンは、使用後も子どもの手の届かないところに置く
- ヒーターは子どもが触らないよう安全柵を設ける
- 落下防止のためソファにひとり寝かせない

その他

- 階段や段差、添い寝している大人用ベッドなど転倒・転落の恐れがあるところには、安全柵を設ける
- ドアや引き戸などは手をはさむ恐れがあるため、指はさみ防止グッズを利用する

